

## 安達太良山の火山活動解説資料（平成29年11月）

仙台管区气象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①）  
若宮及び鉄山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図2-②～④）  
火山性地震は少ない状態で経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図3、図5）  
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況

- ・左図：若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置している監視カメラの映像（11月14日）です。
- ・右図：鉄山（沼ノ平火口の北東約700m）に設置している監視カメラの映像（11月14日）です。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成29年12月分）は平成30年1月12日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東北大学のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

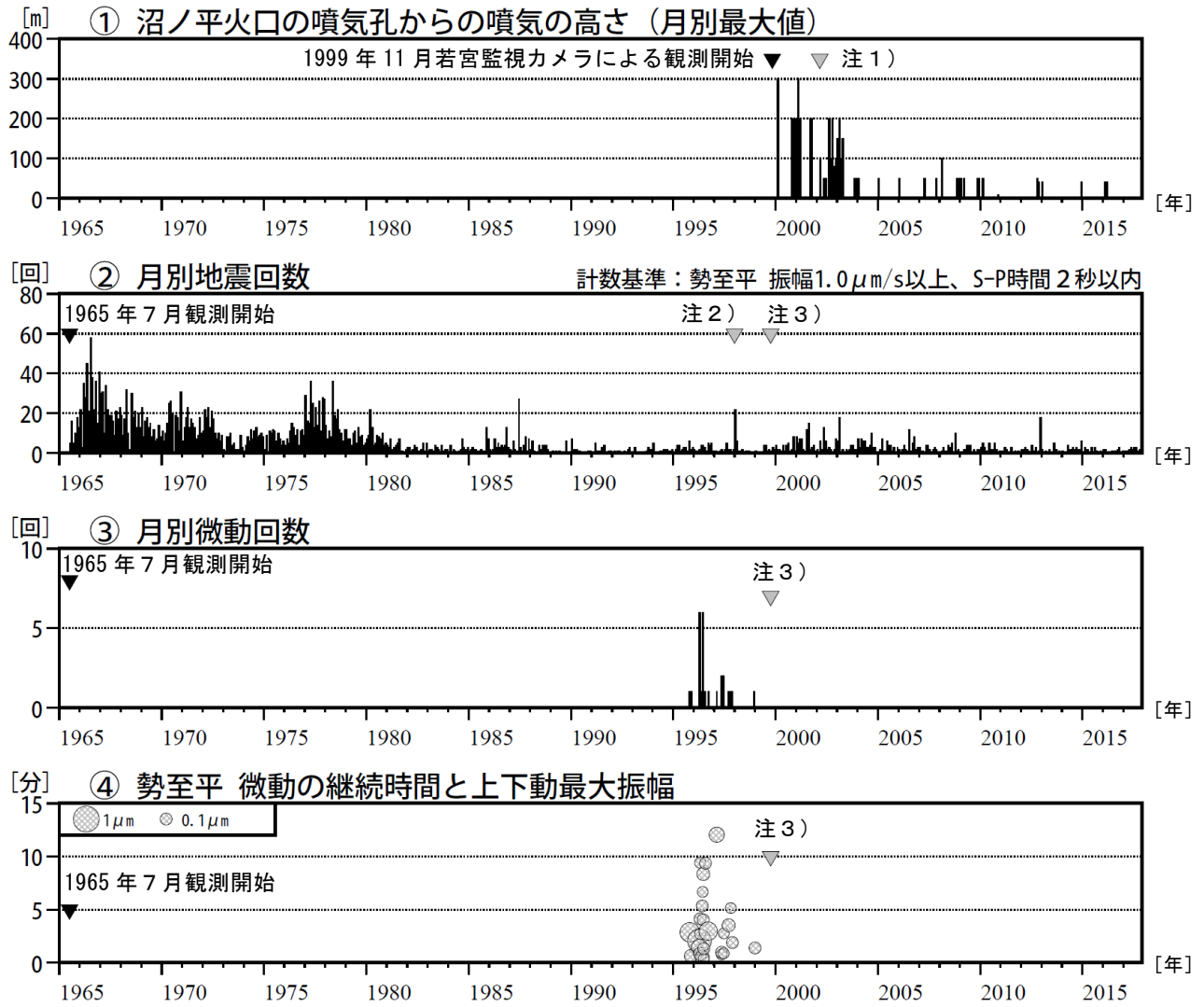


図 2 安達太良山 火山活動経過図 (1965 年 7 月～2017 年 11 月)

- ・①注 1) 2002 年 2 月以前は定時 (09 時、15 時) 及び随時観測による高さ、2002 年 3 月以降は 24 時間観測による高さです。
- ・②注 2) 1998 年より計数基準を S-P 5 秒以内から S-P 2 秒以内に変更しました。
- ・②～④注 3) 1999 年 10 月に基準観測点を塩沢観測点 (沼ノ平火口から東北東約 6 km) から新設した勢至平観測点 (沼ノ平火口から東北東約 3 km) に変更しました。

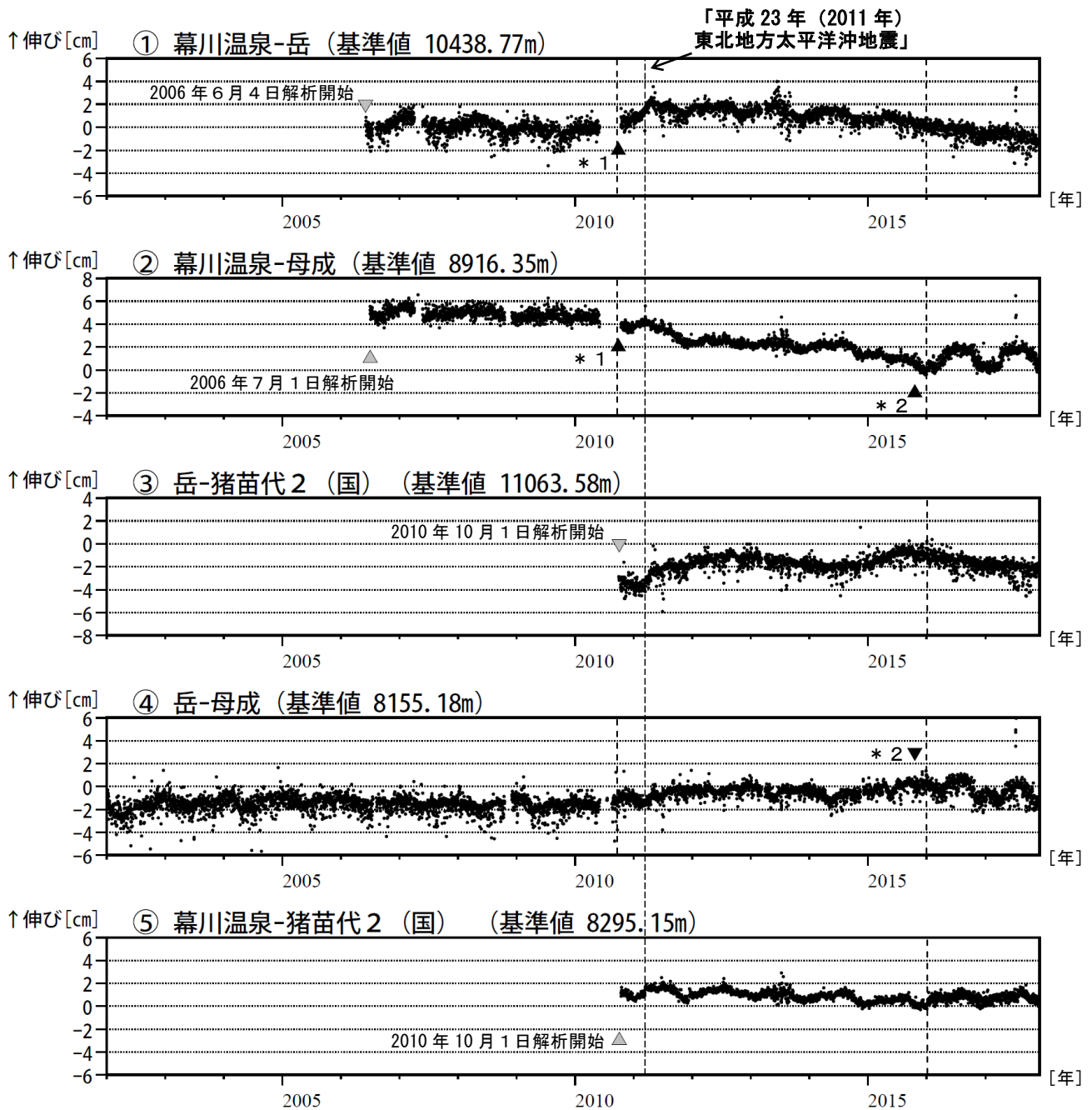


図3 安達太良山 GNSS<sup>1)</sup> 基線長変化図 (2002年1月~2017年11月)

- ・ 2010年10月及び2016年1月に、解析方法を変更しています。
  - ・ 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・ ①~⑤は図5のGNSS基線①~⑤に対応しています。
  - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
    - \* 1 : 幕川温泉観測点の機器更新を行いました。 \* 2 : 母成観測点の機器更新及び移設を行いました。
  - ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

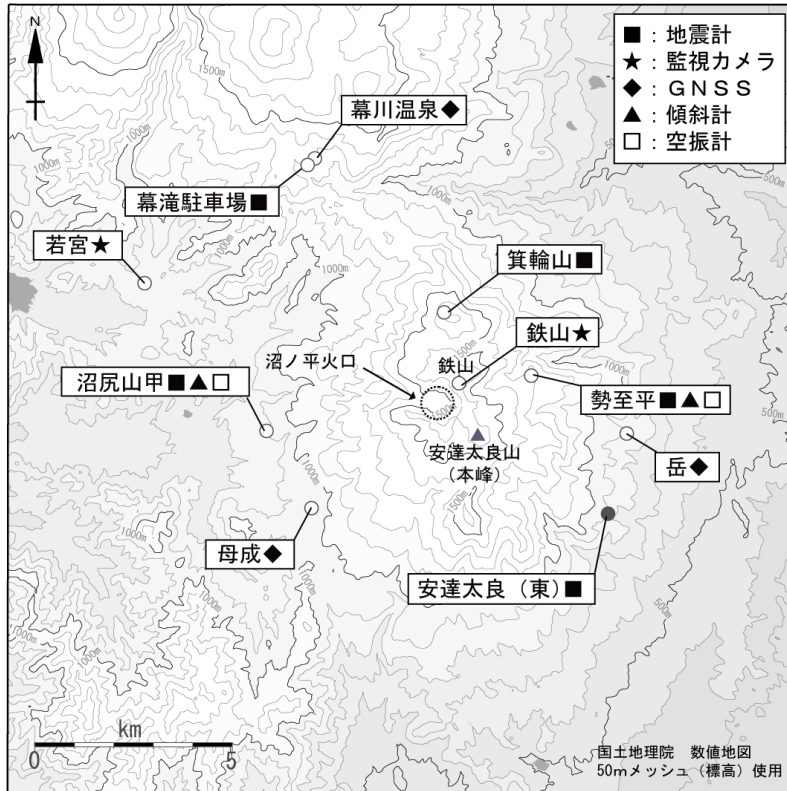


図4 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (東) : 東北大学

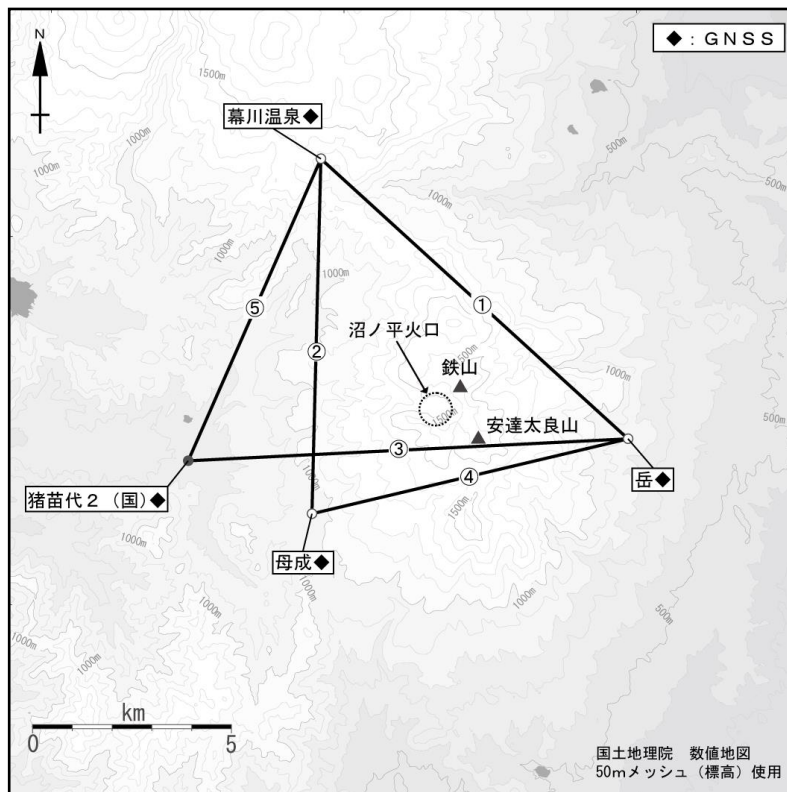


図5 安達太良山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院